

年頭のあいさつ



蒲郡市老人クラブ連合会
会長 吉見 敏雄

新年明けましておめでとうございます。会員のみなさまには清々しく新年をお迎え、ご健勝のことと心からお祝い申し上げます。日頃、市老連に対するご理解とご協力賜り厚くお礼申し上げます。市老連行事も各部会みなさま方の協力により円滑に、又無事に推進することができました。心から感謝申し上げます。さて新年を迎えるにあたり視点を換え、社会情勢に目を向ければ、長引く経済不況に加え、国、地方の財政事情の悪化など私たち高齢者を取り巻く環境は一段と厳しく、今後対応すべき問題は数多くあります。こうした状況のなか世相は少子高齢化が進み、これまで経験したことのない超高齢者時代に向かおうとしています。このとき、私たちクラブは現今の社会、経済の状況を踏まえ、高齢者の介護予防を基幹として、

健康、友愛、伝承活動を中心に誰もが健康で、安心して暮らせる地域社会を築き上げるクラブ活動を展開することが必要であろうと思えます。会員のみなさま英知を集まれ幅広く活動されることを念願申し上げます。おわりに臨み、会員のみなさまのご健勝とご多幸を心からお祈りし、併せて蒲郡市老人クラブ連合会の発展に、なお一層のご支援を賜りますことを切に望んで新年のあいさつとさせていただきます。

新年のあいさつ



蒲郡市社会福祉協議会
会長 牧原 幹夫

新年明けましておめでとうございます。老人クラブ会員の皆様には健やかな新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。日頃は社会福祉協議会の活動につきまして、ご理解とご協力を頂いており、厚くお礼を申し上げます。

社会福祉協議会も昨年設立50周年、法人化30周年という節目

の年を迎えることが出来ました。これも市ご当局のご支援や、民生児童委員やボランティアの皆様方、総代さんを始めとする地域の皆様方、また福祉・保健・医療等関係機関の皆様方のご支援ご協力の賜物でございます。心から感謝を申し上げます。

皆様方もご存じの通り、人生80年の長寿の時代に入っておりまして、皆が長生き出来るようになってまいりました。昨年9月の厚生労働省の発表では、日本人の平均寿命は男性が78.36歳、女性は85.33歳で女性は長寿世界一、男性は世界第二位の長寿大国ということでもあります。蒲郡市におきましても、現在5人に1人が65歳以上のお年寄りという状況でありまして、少子化と共にこの傾向は益々増大していくものと思われ

ます。このため私共社会福祉協議会といたしましては、行政との連携を密にしながら、高齢者の福祉対策を最重要の課題として今年も各種の事業を進める考えであります。介護保険事業では、要介護認定調査やケアプランの作成、指定事業者として居宅介護サービスを利

用者の立場に立つて提供するように努めてまいります。その他、在宅老人給食サービス事業、独居老人の安否確認や交流会の開催、在宅福祉サービスふれあい蒲郡の事業なども引き続き実施してまいります。元気なお年寄りの対策として、老人福祉センターでのふれあい入浴の実施、高齢者慰問、高齢者レクリエーション大会、又皆様方老人クラブへの活動助成も引き続き実施してまいりますのでよろしくお願いたします。

人間の一番の幸せは健康であります。体の健康は勿論のこと、心も健康でなければ楽しい生活は出来ません。老人クラブ連合会会員の皆様には本年も健康で生きがいを持って活躍されること祈念させていただきます。

尚来る3月6日には各種福祉団体やボランティアの皆様方と手を携えて「第22回福祉まつり」を開催いたします。老人クラブ連合会の皆様方もボランティアとしてご支援・ご協力をお願いすると共に、より多くの皆様方がこの「福祉まつり」にご参加頂けますようお願いいたします。新年の挨拶といたします。